

憲法第九条の定める国際紛争を解決する手段としての武力行使等の放棄と集団的自衛権行使の
矛盾に関する質問主意書

右の質問主意書を国会法第七十四条によつて提出する。

平成二十七年九月二十五日

小西洋之

参議院議長 山崎正昭殿

憲法第九条の定める国際紛争を解決する手段としての武力行使等の放棄と集団的自衛権行使の

矛盾に関する質問主意書

憲法第九条第一項は、国際紛争を解決する手段としての武力の行使を永久に放棄することとしているが、他国に対して加えられた武力攻撃を阻止することを旨とする集団的自衛権行使は、国際紛争を解決する手段そのものであり、平成二十六年七月一日の閣議決定により政府が容認した限定的な集団的自衛権行使は、この規定に反し違憲なのではないか。政府の見解を詳細に示されたい。

右質問する。

